

平成25年度LCA日本フォーラム総会資料

- 第1号議案 平成24年度活動実績報告書 資料1
- 第2号議案 平成24年度収支決算書 資料2
- 第3号議案 平成25年度活動計画書 資料3
- 第4号議案 平成25年度収支予算書 資料4

参考資料1 平成25年度役員・委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

平成25年7月8日
14時00分～14時45分
於：學士会館 210号室

LCA日本フォーラム
事務局：一般社団法人 産業環境管理協会

平成24年度活動実績報告書(案)

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

1. 会議関係活動

1-1. 総会

◇平成24年7月3日 於 學士会館 202号室

平成24年度 LCA 日本フォーラム役員選任(案)を承認し、平成23年度活動実績報告書(案)、平成23年度収支決算書(案)、平成24年度活動計画書(案)及び平成24年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<平成24年度役員(敬称略)>

- | | | |
|---------|--------|---|
| 1. 会長: | 山本 良一 | 東京都市大学 環境情報学部 特任教授
東京大学 名誉教授 |
| 2. 副会長: | 稲葉 敦 | 工学院大学 工学部 教授 |
| | 足立 芳寛 | 東京大学大学院 工学系研究科 教授(当時)
一般社団法人機械振興協会 理事 技術研究所 次長
東京工科大学 客員教授 |
| | 古賀 剛志 | 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構 理事 |
| | 鈴木 英夫 | 経済産業省 産業技術環境局 局長 |
| | 奥平 総一郎 | 社団法人日本自動車工業会 環境委員会委員長
トヨタ自動車株式会社 専務役員 |
| | 進藤 孝生 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
新日本製鐵株式会社(当時) 代表取締役副社長 |
| | 小川 賢治 | 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員 |
| 3. 監事: | 笠井 清 | 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長 |
| | 二神 龍太郎 | キヤン株式会社 環境統括センター 環境推進部 部長 |

1-2. 運営委員会

2回開催し、総会付議事項を審議、承認した。

◇第1回 平成24年6月21日 於 中央大学駿河台記念館 330会議室

出席: 委員 17名、オブザーバー 2名、事務局 3名

議案: ・総会付議事項について(審議)

平成23年度活動実績報告書(案)、平成23年度収支決算書(案)、平成24年度活動計画書(案)及び平成24年度収支予算書(案)を審議、承認した。

・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

◇第2回 平成25年3月28日 於 エッサム神田ホール 601会議室

出席: 委員 22名、事務局 3名

議案: ・平成24年度各専門委員会、研究会の活動、普及活動の報告と平成24年度収支決算書(案)を確認した。

・平成25年度事業活動計画(案)、平成25年度収支予算(案)、平成25年度委員会委員構成(案)を審議、承認した。

1-3. LCA/DB委員会

3回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用の確認とインベントリデータ収集管理の方法について検討する「インベントリデータベース動向調査」実施について検討した。

- ◇第1回 平成24年6月12日 於 中央大学駿河台記念館 330会議室
出席： 委員 12名、事務局 3名
議案： ・平成23年度 JLCA データベース利用・更新実績について
・インベントリデータベース動向調査(計画案)について
・各工業会の LCA 活動の状況について
- ◇第2回 平成24年11月27日 於 中央大学駿河台記念館 330会議室
出席： 委員 9名、事務局 4名
議案： ・インベントリデータベース動向調査(中間報告)について
・JLCA データベース利用・更新実績について
- ◇第3回 平成24年3月14日 於 産業環境管理協会 会議室
出席： 委員 8名、事務局 5名
議案： ・インベントリデータベース動向調査(最終報告)について
・JLCA データベース利用・更新実績について

1-4. 情報企画委員会

3回開催し、セミナー開催計画及びニュースレター発行計画、ホームページからの情報発信について検討した。

- ◇第1回 平成24年5月28日 於 産業環境管理協会 会議室
出席： 委員 6名、事務局 2名
- ◇第2回 平成23年 9月3日 於 産業環境管理協会 会議室
出席： 委員 7名、事務局 2名
- ◇第3回 平成25年1月31日 於 産業環境管理協会 会議室
出席： 委員 7名、事務局 3名
(上記共通) 議案： ・平成24年度セミナー開催実績・計画
・JLCAニュースレター発行実績・計画
・ホームページおよびそれを活用した情報発信の充実について

1-5. 研究活動委員会

1回開催し、会員間相互の情報交流を目的とした、LCA、環境効率関連をテーマにした研究企画を検討した。1回のメール審議により、新規研究会設置の承認をした。

- ◇第1回 平成24年6月8日 於 産業環境管理協会 会議室
出席： 委員 6名、事務局 2名
議案： ・平成23年度研究会活動報告
・平成24年度 新規研究会設置についての検討
・各専門委員会、研究会の活動について(報告)
- ◇メール審議 1回
・新規研究会「ICT事業の組織のLCA」の設置についての承認

1-6. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「平成24年度 第9回LCA日本フォーラム表彰」に関する各賞最終選考を行った。

- ◇平成24年11月16日 於 産業環境管理協会 会議室
出席： 委員 8名、事務局 3名
議題： ・表彰選考 WG による事前審査結果について(報告)
・第9回 LCA 日本フォーラム表彰の最終選考について(審議)

1-7. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

2回開催し、「平成24年度 第9回LCA日本フォーラム表彰」に関する募集要項を検討し、応募申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

◇第1回 平成24年8月3日 於 産業環境管理協会 会議室

出席: 委員 6名、事務局 2名

議案: ・平成24年度第9回LCA日本フォーラム表彰 募集要項等の検討

・平成24年度第9回LCA日本フォーラム表彰 広報活動の検討

◇第2回 平成23年11月9日 於 産業環境管理協会 会議室

出席: 委員 5名、事務局 2名

議案: ・WG委員による事前審査結果について

◇事前審査 委員7名

応募件数 11件

2. JLCAデータベース管理活動

2-1. データベース運用実績

データベースログイン実績 約2,600件 (前年 約3,500件)

データダウンロード実績 約 970件 (前年 約1,050件)

2-2. データ新規追加・更新状況

■2012年度1版 (2012/4/1-2012/6/30)

社団法人電子情報技術産業協会のインベントリデータを 2 件新規追加

1. 液晶ディスプレイ(パネル単品)の製造

2. 液晶ディスプレイ(モジュール)の製造

参考データのインベントリデータを 1 件修正

1. 樹脂の押出し加工

■2012年度3版 (2012/10/1-2012/12/31)

社団法人セメント協会のインベントリデータを 3 件更新

1. ポルトランドセメント製造

2. 高炉セメントB種製造

3. フライアッシュセメントB種製造

2-3. JLCAデータベース調査活動

平成24年度のJLCAデータベース調査活動として、国内外におけるLCAデータベースへのニーズや対応状況、各種プログラムにおける要求事項、国内主要関係者のデータ利用・作成の状況を調査・整理し、インベントリデータ収集管理の方法について検討する「インベントリデータベース動向調査」を実施した。

報告① JLCAセミナー「環境マネジメントに関する国際規格、海外の動向」における報告

報告② 「インベントリデータベース動向調査」報告書のJLCAホームページ掲載

3. 研究会活動

3-1. 「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会

◇「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会 WG メンバー

委員長 松野泰也(東京大学大学院工学系研究科研究科マテリアル工学専攻 准教授)

委員 香坂玲(名古屋市立大学大学院 経済学研究科 准教授)

NTT 環境エネルギー研究所

WG メンバー

いであ株式会社

伊藤忠商事株式会社

株式会社 MIC 武田技術士事務所	パシフィックコンサルタンツ株式会社
キヤノン株式会社	株式会社日立製作所
株式会社東芝	株式会社日立製作所 情報・通信システム社
東芝ソリューション株式会社	富士ゼロックス株式会社
株式会社日本製紙グループ本社	富士通株式会社
日本電気株式会社	富士通エフ・アイ・ピー株式会社

◇第4回「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会

日時: 2012年6月15日(金)～16日(土)

場所: 1日目 日立製作所 ITエコ実験村見学(所在地:神奈川県秦野市)
2日目 伊豆多賀荘 (ブレインストーミング)

課題: ICTを使ったモニタリングサービスは生物多様性保全にどう貢献できるのでしょうか?

◇第5回「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会 (公開講演会)

日時: 2013年3月1日(金) 15:00-18:00

場所: 大手町ファーストスクエアカンファレンス

参加: 50名(講演者、関係者含む)

内容: 招待講演1 「鉄鋼スラグ炭酸固化体 マリンブロック®を用いた藻場・サンゴ礁再生」

JFE スチール株式会社 スラグ事業推進部 小山田 久美

招待講演2 「建設・まちづくりにおける生物多様性の価値評価技術とその展開」

清水建設株式会社 技術研究所 環境エネルギー技術センター 横田 樹広

事例発表「生物多様性に関わる技術者が ICT 技術に期待すること」

いであ株式会社 国土環境研究所 生物多様性計画部 部長 西 浩司

3-2. 「LIME2 活用検討 WG パート3」研究会

◇「LIME2 活用検討 WG パート3」WG メンバー

委員長 伊坪徳宏(東京都市大学 環境情報学部 准教授)

委員 本下晶晴(産業技術総合研究所 社会とLCA 研究グループ 研究員)

WG メンバー

株式会社日立製作所

株式会社東芝

大日本印刷株式会社

日産自動車株式会社

工学院大学

一般社団法人日本壁装協会

帝人株式会社

パナソニック株式会社

◇「LIME2 活用検討 WG パート3」研究会 実施内容

1. LIME2の利用方法の解説、指導、生物多様性や水を対象とした影響評価の検討
2. 事例研究、結果の解釈と考察、環境評価手法への活用方法の検討、クリティカルレビュー
3. LIME2 活用事例の公表(報告書作成)

◇研究会発表(4. 普及・情報交流活動参照)

「LCA/CFP セミナー」にて5社が研事例発表を行った。

◇研究会報告書

LCA 日本フォーラムニュース 59号・60号に掲載発行した。(5. JLCAニュースレター参照)

■第6回 平成24年 7月 9日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム 1(901)

■第5回 平成24年 5月14日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム 1(901)

3-3. 「電子メディア」研究会

◇「電子メディア」WGメンバー

- 委員長 田原聖隆(独立行政法人産業技術総合研究所
安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ長)
- 委員 清水印刷紙工株式会社
株式会社富士通研究所
- WGメンバー 株式会社メディア・ナレッジ
大日本印刷株式会社
富士フイルム株式会社(H25.1 担当者部署異動により辞退)
ソニー株式会社(H25.1 担当者部署異動により辞退)

◇「電子メディア」研究会 実施内容

1. LCA 算定項目の検討、ICTサービスの評価範囲について
2. システム開発における環境負荷の算定方法について
3. 書籍購読実態のアンケート調査
4. 電子メディアに関するLCA 報告書作成 →LCAジャーナルへ論文投稿予定

- 第9回 平成25年 3月12日 於 (社)産業環境管理協会 C会議室
- 第8回 平成25年 1月25日 於 (社)産業環境管理協会 C会議室
- 第7回 平成24年11月14日 於 (社)産業環境管理協会 C会議室
- 第6回 平成24年 9月 7日 於 (社)産業環境管理協会 C会議室
- 第5回 平成24年 7月13日 於 (社)産業環境管理協会 C会議室
- 第4回 平成24年 5月17日 於 (社)産業環境管理協会 C会議室

3-4. 「ICT事業の組織のLCA」研究会

◇「ICT事業の組織のLCA研究会」WGメンバー

- 委員長 松野泰也(東京大学大学院工学系研究科研究科マテリアル工学専攻 准教授)
- 委員 NTT 環境エネルギー研究所
- WGメンバー 株式会社NTT データ 株式会社日立製作所
日本電気株式会社 (NEC) 富士通株式会社
富士ゼロックス株式会社 キヤノン株式会社
株式会社東芝 三菱電機株式会社

◇「電子メディア」研究会 実施内容

1. L1410を踏まえた企業総体のbyICT効果算出集計方法の構築。
2. 本集計方法により、企業が環境目標を定量的に設定(KGI:重要目標達成指標)し、目標の達成度を定量的に管理(KPI:重要業績評価指標)公開できる社会の基盤づくりを目指す。

- 第2回 平成25年3月13日 於 NTT環境エネルギー研究所 会議室(NTT 技術資料館見学会)
- 第1回 平成25年2月1日 於 (社)産業環境管理協会 AB 会議室

4. 普及・情報交流活動

4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催

- ① 平成24年度 LCA 日本フォーラム総会記念セミナー
日時: 平成24年7月3日
場所: 學士会館 202 号室

参加: 140名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容: 特別講演「グリーン経済を推進するLCA」

東京都市大学 環境情報学部 教授 山本 良一

特別講演「地球温暖化対策の今後」

東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 教授 足立 芳寛

招待講演「LCAの将来展望 持続可能性の評価ツールとして」

独立行政法人製品評価技術基盤機構 理事長 安井 至

② LCA日本フォーラム/CFP日本フォーラム共催セミナー「LCA/CFPセミナー」

日時: 平成24年11月6日

場所: 大手町ファーストスクエアカンファレンス

参加: 170名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容 【SCOPE3 活用事例】

「サプライチェーンでのGHG把握に向けたパナソニックの取組」

パナソニック株式会社 モノづくり本部 環境渉外室 室次長 芝池 成人

「GHGプロトコルに則った温室効果ガス排出量の公開」

本田技研工業株式会社 経営企画部 環境安全企画室室長 篠原 道雄

「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)を使った社内活性化」

「建設会社のSCOPE3」

大成建設株式会社 環境本部 企画管理部長 丹下 誠司

【「LIME2活用検討」研究会報告】

「ガソリン自動車の水消費量」

日産自動車株式会社 環境・安全技術渉外部 磯部 真弓

「PMSM(永久磁石同期電動機)を搭載した鉄道車両におけるLIME2環境影響評価」

株式会社東芝 電力蓄電ソリューション・配電システム開発部 高橋 玲子

「MicVac調理品と日配惣菜品の環境影響比較」

大日本印刷株式会社 包装事業部 高橋 麻貴子

「環境影響評価の化学物質排出削減活動への応用」

帝人株式会社 環境・安全室 服部 啓次郎

「IT機器の環境影響評価」

株式会社日立製作所 横浜研究所 生産技術研究センタ 熊澤 孝明

③ LCAフォーラム表彰「第9回LCA日本フォーラム表彰記念講演」

日時: 平成24年12月14日

場所: 東京ビッグサイト 会議棟 610会議室 (※「エコプロダクツ2012」会場内)

参加: 120名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容: 第9回LCA日本フォーラム表彰受賞者 (6. LCA日本フォーラム表彰参照)

④ LCA日本フォーラム/日本LCA学会共催セミナー

「環境マネジメントに関する国際規格、海外の動向」

日時: 平成25年3月15日

場所: 日経カンファレンスルーム(日経ビル 6F)

参加: 150名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容: 講演1「ISO14046 ウォーターフットプリント」

株式会社東芝 環境推進部 製品担当主務 小林 由典

講演2「製品のカーボンフットプリント ISO標準化動向」

日本電気株式会社 ITプラットフォームソリューション事業部 エキスパート 中原 良文
講演3 「SCOPE3/欧州環境フットプリント」

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 コンサルタント 岩下 果林
講演4 「worldsteel Association におけるLCA活動状況」

一般社団法人日本鉄鋼連盟

新日鐵住金株式会社 技術総括部 部長 小野 透

講演5 「IEC TC111(電気・電子製品の GHG)の紹介」

一般社団法人日本電機工業会 環境部 地球環境保全第一課 課長 齋藤 潔

報告1 インベントリーデータベース動向調査報告

社団法人産業環境管理協会 LCA 事業推進センター 主査 中野 勝行

報告2 米国国際会議参加報告

社団法人産業環境管理協会 LCA 事業推進センター 室長 神崎 昌之

報告3 欧州国際会議参加報告/LCA データベースの国際動向

独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門

社会とLCA 研究グループ長 田原 聖隆

4-2. JLCAニュースレター発行

下記のとおりニュースレターを発行し、会員及び関係機関に配信した。

◇第59号:平成24年11月30日 特集:「LIME2 活用検討パート3」研究会 成果報告書 1

事例1 株式会社日立製作 「IT 機器の環境影響評価」

株式会社日立製作所 横浜研究所 熊澤 孝明

株式会社日立製作所 地球環境戦略室 河野 文子

事例2 株式会社東芝 「永久磁石同期電動機(PMSM)搭載鉄道車両のLCA」

株式会社東芝 電力・社会システム技術開発センター 高橋 玲子

事例3 パナソニック株式会社 「W ヘッド型家庭用スチームアイロンの環境影響評価」

パナソニック株式会社 モノづくり本部 環境・品質センター 佐々木 秀樹

事例4 日産自動車株式会社 「ガソリン自動車の水消費量」

日産自動車株式会社 企画・先行技術開発本部 環境・安全技術渉外部

環境マネジメントグループ 磯部 眞弓

◇第60号:平成24年11月30日 特集:「LIME2 活用検討パート3」研究会 成果報告書 2

事例5 大日本印刷株式会社 「MicVac 調理品と日配惣菜品の環境影響比較」

大日本印刷株式会社 包装事業部 柴田あゆみ、加藤隼平、高橋麻貴子

事例6 帝人株式会社 「環境影響評価の化学物質排出削減活動への応用」

帝人株式会社 環境・安全室 大迫 真一、服部 啓次郎

事例7 一般社団法人日本壁装協会/東京都市大学 環境情報学部 伊坪研究室

「塩ビ系壁紙の地球温暖化と室内空気質汚染の人間健康影響」

一般社団法人日本壁装協会 業務部 松井 隆博

東京都市大学 環境情報学部 伊坪研究室 山口 博司

事例8 工学院大学 「ストーンペーパーの環境影響評価」

工学院大学 環境化学工学科 環境マネジメント工学研究室

川嶋 琢幹、嵐 紀夫、稲 葉敦

◇第61号:平成25年2月25日 特集:平成24年度第9回 LCA 日本フォーラム表彰 1

◇第62号:平成25年3月4日 特集:平成24年度第9回 LCA 日本フォーラム表彰 2

(6. LCA日本フォーラム表彰参照)

【英語版】

LCA 国家プロジェクトの成果であり、かつ、LCA 日本フォーラムのホームページにおいて公開している LIME の英語版の説明資料を、LCA/DB 委員会および情報企画委員会の承認を得て、News Letter 英語版のシリーズとして発行する運びとなり、本年度も引続き下記を発行した。

- No.15 LIME2 : Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling
- Chapter 2 - Characterization and Damage Evaluation Methods
- 2.1 Ozone layer depletion
- 2.2 Global warming
- 2.3 Acidification

4-3. ホームページ情報更新

◇新規コンテンツの作成

JLCA ホームページ上に、会員の環境関連活動を紹介するページを作成した。

◇コンテンツの情報更新

- ・データ新規追加・更新状況
- ・セミナー等のイベント開催案内、開催報告
- ・LCA 表彰、研究会等の募集、開催報告

◇メール情報配信 30件

LCA、環境効率関連のニュース、会員からの情報提供、フォーラム主催イベントなどの情報を、会員(ユーザー登録会員)に対して発信した。

5. LCA 日本フォーラム表彰

LCA、環境効率に係わる優れた活動を表彰する「平成24年度「第9回 LCA 日本フォーラム表彰」が実施され、経済産業省産業技術環境局長賞をはじめ、下記の通り受賞者が決定された。表彰式、記念講演をエコプロダクツ 2012 において開催した。

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省産業技術環境局長賞(1件)		
研究・教育・普及	一般社団法人 日本化学工業協会 会長 高橋 恭平	CO2 排出削減貢献量算定のガイドラインの策定
LCA 日本フォーラム会長賞(2件)		
環境経営	ダンジャパン株式会社 カーボンフットプリント削減プロジェクトチーム	カーボンフットプリント削減プロジェクト
環境経営	凸版印刷株式会社 製造統括本部 エコロジーセンター センター長 畑島光久	凸版印刷の環境影響評価の応用 ～「組織の評価」と「製品の評価」の両面から～
LCA 日本フォーラム奨励賞(6件)		
研究・教育・普及	一般社団法人 日本壁装協会 LCA 研究会	LCA を通じた壁紙業界の CO2 継続的削減活動の実施

研究・教育・普及	株式会社東芝 環境推進部 部長 実平喜好	東芝グループにおけるウォーターフットプリントの実践
環境経営部	東芝メディカルシステムズ株式会社 環境経営推進室 室長 東木 裕介	LCAを活用した医療機器分野における環境経営の推進
研究・教育・普及	大日本印刷株式会社／岩谷産業株式会社	サトウキビを原料に用いた「バイオマテックPET」のLCA
環境経営	東洋製罐株式会社 資材・環境本部 環境部	軟包装材料における低環境負荷ラミネーションシステム開発へのLCA手法の活用
環境コミュニケーション	東洋インキ SCホールディングス株式会社 代表取締役社長 北川 克己	印刷インキや印刷物に関するカーボンフットプリント／カーボン・オフセットの成果の開示
功労賞(2名)		
八木 晃一 一般社団法人 未踏科学技術協会 特別研究員		
蛇抜 信雄 株式会社プロティビティLLC アソシエイトディレクター		

6. 国際対応活動

海外動向調査として以下の国際会議へ専門家を派遣した。

◇国際会議 「米国 LCA XII」

日時:2012年9月25日～27日

場所:米国 ワシントン州 タコマ市

主催:米国LCA センター(ACLCA)／電気事業研究国際協力機構(IERE)

派遣者 一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター

LCA 事業室 室長 神崎 昌之

◇国際会議 「LCA Food 2012」(October 2-4, 2012)

「3rd International Ecoinvent Meeting」(October5-6, 2012)

日時:2012年10月2日～6日

場所:フランス

派遣者 独立行政法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門

社会とLCA 研究グループ グループ長 田原聖隆

◇国際会議「Society and Materials Conference: SAM-7」(April 25-26, 2013, Germany)

日時:2013年4月25日～26日

場所:ドイツ

派遣者 東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 准教授 松野 泰也

以上

平成24年度LCA日本フォーラム収支決算書(案)

1 一般事業収支

(単位:円)

	科目	H24年度 予算額	H24年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	17,421,000	17,154,000	△ 267,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 21 工業会 III = 630,000 @ 80,000 円× 7 団体 = 560,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 96 優先企業A = 4,800,000 @ 20,000 円× 1 優先企業A* = 20,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 37 一般企業A = 2,960,000 @ 20,000 円× 1 一般企業A* = 20,000 @ 50,000 円× 23 一般企業B = 1,150,000 @ 30,000 円× 45 一般企業C = 1,350,000 @ 30,000 円× 51 大学等 = 1,530,000 @ 13,000 円× 53 個人 = 689,000 @ 5,000 円× 3 個人* = 15,000 (*旧環境効率フォーラム移管会員)
2	特別DB利用料	175,000	140,000	△ 35,000	@ 7,000 円× 20 LCA学会 = 140,000
3	セミナー参加費	150,000	204,000	54,000	@ 5,000 円× 11 人 = 55,000 @ 3,000 円× 37 人 = 111,000 @ 1,000 円× 38 人 = 38,000
4	雑収入	10,000	3,893	△ 6,107	利息 1,600
当期収入合計(A)		17,756,000	17,501,893	△ 254,107	
II	支出の部				
1	委員会関係費	700,000	563,050	△ 136,950	委員謝金 177,000 委員旅費 217,920 会場費 114,500 会議費 53,630
2	研究会活動費	1,500,000	825,723	△ 674,277	研究会活動費 ・ICTと生物多様性(公開講演会含む) 426,043 ・LIME2研究会 239,090 ・電子メディア研究会 142,590 ・ICT事業の組織のLCA研究会 18,000
3	システム維持管理費	6,400,000	5,952,998	△ 447,002	データベースサーバー保守・管理費 815,000 レンタルサーバー利用費 176,598 データ更新調査費(インベントリ)データ更新調査費 1,050,000 データ更新調査費(インベントリ)動向調査 3,000,000 ホームページ更新・管理費 911,400
4	セミナーシンポジウム	2,600,000	3,040,191	440,191	講師謝金・旅費 329,460 会場費 1,368,700 印刷費 877,771 会議費 464,260
5	表彰費	1,300,000	948,319	△ 351,681	委員会、表彰式、講演一式 948,319
6	広報誌発行費	3,100,000	3,408,600	308,600	翻訳費(LIME2翻訳) 2,910,600 原稿料 498,000
7	国際対応活動費	2,050,000	2,080,773	30,773	海外調査 1,530,773 TC207協力金(H24年度分) 50,000 第10回エコバランス国際会議 500,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	日本LCA学会(H24年度分) 100,000
9	CFP日本フォーラム運営協力金	500,000	500,000	0	CFP日本フォーラム(H24年度分) 500,000
10	事務局人件費	3,500,000	3,480,000	△ 20,000	事業支出額の約20% 3,480,000
11	事務局経費	700,000	625,302	△ 74,698	事務局人件費の約15% 522,000 実費経費 103,302
当期支出合計(B)		22,450,000	21,524,956	△ 925,044	
当期収支差額(A-B)		△ 4,694,000	△ 4,023,063	670,937	
前年度繰越金(C)		9,288,601	9,288,601	0	
次期繰越収支差額(A-B+C)		4,594,601	5,265,538	670,937	

2 特別収支(システム更新積立金)

(単位:円)

	科目	H24年度 予算額	H24年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	0	0	0	
II	支出の部				
	JLCA-DBハードウェア更新費	500,000	0	△ 500,000	
当期支出合計(E)		500,000	0	△ 500,000	
当期収支差額(D-E)		△ 500,000	0	500,000	
前年度繰越金(F)		8,968,700	8,968,700	0	
次期繰越収支差額(D-E+F)		8,468,700	8,968,700	500,000	

会計監査確認書

平成24年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

平成25年4月23日

監事

東京都中央区新川1丁目4番1号
一般社団法人日本化学工業協会
技術部

部長 笠井 清



監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号
キヤン株式会社
環境統括センター 環境推進部

部長 二神 龍太郎



平成25年度活動計画書(案)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

LCA日本フォーラム(以下、「JLCA」)は、LCAに関わる産官学の関係者の情報交流を図るネットワークとして平成7年10月に設立され、平成23年に旧日本環境効率フォーラムと統合し、下記を目標に活動を進めてきた。

- ①LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ②情報発信活動としてセミナーの開催およびメールマガジンの発刊
- ③LCA日本フォーラム表彰の実施
- ④LCAと環境効率の研究会活動の活発化
- ⑤国際動向の積極的な調査

本年度も昨年度に引き続き、LCAと環境効率の活用推進に資する研究会活動の展開を図るとともに、LCA関連をめぐる国内外の動向を整理し、日本におけるLCAデータベースの在り方を検討するなど、以下の活動を重点的に行うこととする。

1. 事業内容

1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

平成24年度に引き続き、工業会提供データの維持管理体制を確保し、データ収載、更新を実施する。また、DB委員会において、前年度のヒアリングで収集した意見をもとに、JLCAデータベース更新および利便性向上のあり方について、工業会・企業に過度な負担とならないよう経済合理性を踏まえた仕組みを検討する「JLCAデータベース管理手法検討業務」を実施する。

1-2. 情報発信活動の実施

- ① LCAと環境効率に関連した情報掲載の「フォーラムニュース」を4刊程度発刊する。
- ② LCAと環境効率に関連したセミナー・シンポジウムを5回程度開催する。
 - 定期セミナー(総会記念セミナー、LCA表彰記念セミナー)
 - 最新動向を中心に生物多様性、国際規格等の関心度の高いテーマを選定
(10月、3月)
 - 関西エリアでのセミナー開催(秋季)
- ③ ホームページのコンテンツの充実を図る。
- ④ メールマガジン等により、LCAと環境効率に関連する情報を提供する。

1-3. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ①国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。
- ②国際会議、学術会議等への協力
TC207、日本 LCA 学会等への支援等

1-4. 表彰事業活動の実施

- ① 会員企業等のLCAに係わる優れた活動を表彰する。
- ② LCA 表彰の内容(10周年記念)の検討を行う。
※ 多数の応募を受けられるように募集方法・期間並びに広報方法を工夫し、顕彰対象が大企業に偏らないよう配慮する。なお、詳細に関しては表彰選考ワーキンググループにて検討する。

1-5. 研究会活動の実施

- ①平成24年度に引続き、下記の研究会活動の継続を実施する。
 - 「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会
 - 「電子メディア」研究会
 - 「ICT(情報通信技術)事業の組織の LCA」研究会
- ②研究活動委員会にて新規2件程度の研究会を設置し、WG メンバーを公募にて募集し、各研究会の委員長を中心に研究会を実施する。
 - 「SCOPE3と組織の LCA」研究会の新規設置

2. 年間スケジュール予定

2-1. 委員会

- ① 通常総会 年1回 (7月8日)
- ② 運営委員会 年2回程度 (6月、3月)
- ③ LCA/DB 委員会 年3回程度 (6月、11月、2月)
- ④ 情報企画委員会 年3回程度 (5月、9月、1月)
- ⑤ 研究活動委員会 年2回程度 (5月、10月)
- ⑥ 表彰選考委員会 年1回程度 (最終選考11月)
- ⑦ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度(8月、11月)

2-2. 情報発信

- ① セミナー開催 年5回程度 (7月、10月、11月、12月、3月)
- ② ニュースレター発刊 年4回程度 (10月～2月)
- ③ ホームページ更新(ニュース配信随時、コンテンツ改訂等)

以上

平成25年度LCA日本フォーラム収支予算(案)

(単位:円)

1 一般事業収支

	科目	H24年度 予算額	H24年度 決算額	H25年度 予算額	
I	収入の部				
1	会費	17,421,000	17,154,000	17,154,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 21 工業会 III = 630,000 @ 80,000 円× 7 団体 = 560,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 96 優先企業 A = 4,800,000 @ 20,000 円× 1 優先企業 A* = 20,000 @ 30,000 円× 1 優先企業 B = 30,000 @ 80,000 円× 37 一般企業 A = 2,960,000 @ 20,000 円× 1 一般企業 A* = 20,000 @ 50,000 円× 23 一般企業 B = 1,150,000 @ 30,000 円× 45 一般企業 C = 1,350,000 @ 30,000 円× 51 大学等 = 1,530,000 @ 13,000 円× 53 個人 = 689,000 @ 5,000 円× 3 個人* = 15,000 (*旧環境効率フォーラム移管会員)
2	特別DB利用料	175,000	140,000	140,000	@ 7,000 円× 20 LCA学会 = 140,000
3	セミナー参加費	150,000	204,000	200,000	@ 5,000 円× 40 人 = 200,000
4	雑収入	10,000	3,893	4,000	利息 4,000
当期収入合計(A)		17,756,000	17,501,893	17,498,000	
II	支出の部				
1	委員会関係費	700,000	563,050	500,000	委員謝金 200,000 委員旅費 150,000 会場費 100,000 会議費 50,000
2	研究会活動費	1,500,000	825,723	1,500,000	継続研究会活動費 1,500,000 継続の研究会:3件 新規設置研究会:2件
3	システム維持管理費	6,400,000	5,952,998	4,800,000	データベースサーバー保守・管理費 900,000 レンタルサーバー利用費 200,000 データ更新調査費(DB管理手法検討業務) 3,000,000 ホームページ更新・管理費 700,000
4	セミナーシンポジウム	2,600,000	3,040,191	3,300,000	講師謝金・旅費 500,000 会場費 1,300,000 印刷費 1,000,000 会議費 500,000
5	表彰費	1,300,000	948,319	1,500,000	委員会、表彰式、講演一式 1,500,000
6	広報誌発行費	3,100,000	3,408,600	500,000	原稿料 500,000
7	国際対応活動費	2,050,000	2,080,773	2,050,000	海外調査 2,000,000 TC207協力金(H25年度分) 50,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	日本LCA学会(H25年分) 100,000
	CFP日本フォーラム運営協力金	500,000	500,000	0	
	事務局人件費	3,500,000	3,480,000	2,850,000	事業支出額の約20% 2,850,000
	事務局経費	700,000	625,302	630,000	事務局人件費の約15% 430,000 実費経費 200,000
当期支出合計(B)		22,450,000	21,524,956	17,730,000	
当期収支差額(A-B)		△ 4,694,000	△ 4,023,063	△ 232,000	
前年度繰越金(C)		9,288,601	9,288,601	5,265,538	
次期繰越収支差額(A-B+C)		4,594,601	5,265,538	5,033,538	

2 特別収支(システム更新積立金)

(単位:円)

	科目	H24年度 予算額	H24年度 決算額	H25年度 予算額	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	0	0	0	
II	支出の部				
	JLCA-DBハードウェア更新費	500,000	0	0	
	当期支出合計(E)	500,000	0	0	
	当期収支差額(D-E)	△ 500,000	0	0	
	前年度繰越金(F)	8,968,700	8,968,700	8,968,700	
	次期繰越収支差額(D-E+F)	8,468,700	8,968,700	8,968,700	

平成25年度LCA日本フォーラム役員一覧

(敬称略)

会長:

山本 良一 東京都市大学 環境情報学部 特任教授
東京大学 名誉教授

副会長:

稲葉 敦 工学院大学 工学部 教授

足立 芳寛 東京工科大学 客員教授

古賀 剛志 特定非営利活動法人エコデザイン推進機構 理事

片瀬 裕文 経済産業省 産業技術環境局 局長

奥平 総一郎 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
トヨタ自動車株式会社 専務役員

進藤 孝生 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
新日鉄住金株式会社 代表取締役副社長

小川 賢治 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員

監事:

笠井 清 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長

二神 龍太郎 キヤノン株式会社 環境統括センター 環境推進部 部長

平25年度 LCA日本フォーラム 運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1	委員長 稲葉 敦	工学院大学 工学部	環境エネルギー化学科	教授
2	副委員長 古賀 剛志	特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構		理事
3	副委員長 田村 一之	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境本部	本部長
4	副委員長 南原 智彦	三菱電機株式会社	環境推進本部	本部長
5	委員 足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会 東京工科大学		理事 技術研究所 次長 客員教授
6	委員 石谷 久	東京大学		名誉教授
7	委員 國部 克彦	神戸大学	大学院 経営学研究科	教授
8	委員 上野 潔	金沢工業大学	東京虎ノ門キャンパス 高信頼ものづくり専攻	客員教授
9	委員 平尾 雅彦	東京大学大学院 工学系研究科	化学システム工学専攻	教授
10	委員 水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
11	委員 伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
12	委員 鷲尾 修司	一般社団法人日本ガス協会	環境部	部長
13	委員 荒井 宏昭	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	技監
14	委員 佐藤 実	一般社団法人電子情報技術産業協会	環境部	担当部長
15	委員 笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
16	委員 笠原 隆男	石油化学工業協会	業務部 兼 企画部	担当部長
17	委員 古條 克幸	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会	環境部	担当部長
18	委員 吉良 雅治	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第一部 兼 技術部	部長
19	委員 小竹 忠	一般社団法人日本自動車工業会	環境統括部	副統括部長
20	委員 佐野 正之	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	環境・省エネ部	担当部長
21	委員 田和 健次	石油連盟	技術環境安全部	部長
22	委員 葉石 善一	一般社団法人日本建設業連合会	建築部	建築部長
23	委員 津崎 英男	電気事業連合会	立地環境部	副部長
24	委員 細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
25	委員 松浦 弘之	一般社団法人日本ガス石油機器工業会		事務局長
26	委員 田尻 彰	一般社団法人日本アルミニウム協会		参与
27	委員 大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		理事 環境委員長
28	委員 小野寺 浩幸	株式会社日立製作所	地球環境戦略室	室長
29	委員 竹山 典男	株式会社東芝	環境推進部 製品環境推進担当	グループ長
30	委員 端谷 隆文	富士通株式会社	環境本部	シニアディレクター
31	委員 二神 龍太郎	キヤノン株式会社	環境統括センター 環境推進部	部長
32	委員 中村 二郎	NTT環境エネルギー研究所	環境推進プロジェクト	プロジェクトマネージャ
33	委員 小見山 康二	経済産業省	産業技術環境局 環境経済室/環境調和産業推進室	室長

平成25年度 LCA日本フォーラム LCA/DB委員会名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	平尾 雅彦	東京大学	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻	教授
2 副委員長	小野 透	新日鐵住金株式会社／一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術総括部	上席主幹
3 委員	原田 幸明	独立行政法人物質・材料研究機構	元素戦略材料センター	特命研究員
4 委員	松野 泰也	東京大学	大学院 工学系研究科	准教授
5 委員	田原 聖隆	独立行政法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	グループ長
6 委員	笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
7 委員	金子 一彦	株式会社荏原製作所／一般社団法人日本産業機械工業会	企業リスク管理統括部 環境推進室	グループ長
8 委員	佐藤 義幸	一般社団法人日本ガス協会	環境部 地域環境グループ	マネジャー
9 委員	野村 正義	昭和電工株式会社／一般社団法人日本アルミニウム協会	技術本部 環境安全室	スタッフマネージャー
10 委員	青木 尚樹	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
11 委員	佐藤 正章	鹿島建設株式会社／一般社団法人日本建設業連合会	建築設計本部	技師長
12 委員	岸田 正俊	矢崎総業株式会社／一般社団法人日本自動車部品工業会	品質管理室 環境企画部	主管
13 委員	村松 佳孝	一般社団法人電線総合技術センター	研究開発グループ	グループ長
14 委員	長縄 肇志	塩ビ工業・環境協会	技術部	部長
15 委員	二見 達也	日本鋳業協会	技術部	次長
16 委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部 地球環境保全第一課	課長
17 委員	庄田 俊二	新日鐵住金ステンレス株式会社／ステンレス協会	製造本部 製造管理部	担当部長 環境安全室長(部長)

平成25年度 LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
2 委員	宗國 肇	一般社団法人 プラスチック循環利用協会	調査研究部	環境影響評価部長
3 委員	長谷川 浩	大日本印刷株式会社	環境安全部	シニアエキスパート
4 委員	中橋 順一	旭化成株式会社	環境・安全部	副部長
5 委員	前川 均	株式会社日立製作所 情報・通信システム社	経営戦略室 環境推進本部 環境戦略センタ	シニアエキスパートスタッフ
6 委員	端谷 隆文	富士通株式会社(日本LCA学会 企画委員会委員長)	環境本部	シニアディレクター
7 委員	平井 真紀子	株式会社リコー	CSR・環境推進本部 計画室	スペシャリスト
8 委員	菊池 康紀	東京大学 統括プロジェクト機構	「プラチナ社会」総括寄付講座 化学システム工学専攻(兼任)	特任講師
9 委員	吉村 祐美	東洋製罐株式会社	環境・品質保証・資材本部 環境部	
10 委員	大橋 憲司	株式会社資生堂	CSR部 環境企画室	
11 委員	小野 光司	日本生活協同組合連合会	環境事業推進室	

平成25年度 LCA日本フォーラム研究活動委員会

(順不同・敬称略)

No	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
2 委員	伊香賀 俊治	慶應義塾大学	理工学部 システムデザイン工学科	教授
3 委員	高木 敏宏	TOTO株式会社	総合研究所 研究統括G	グループリーダー
4 委員	醍醐 市朗	東京大学	大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	特任准教授
5 委員	竹山 典男	株式会社東芝	環境推進部 製品環境推進担当	グループ長
6 委員	小松 郁夫	東洋製罐株式会社	環境品質保証・資材本部 環境部	課長

平成25年度 LCA日本フォーラム表彰委員会

(順不同・敬称略)

No	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	石谷 久	東京大学 名誉教授		
2 副委員長	足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会東京工科大学		理事 技術研究所 次長 客員教授
3 副委員長	小川 賢治	太平洋セメント株式会社		常務執行役員
4 委員	岩間 芳仁	一般社団法人日本経済団体連合会	環境本部	環境本部長
5 委員	内山 洋司	筑波大学大学院	システム情報系 (構造エネルギー工学域)	教授
6 委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
7 委員	竹本 裕介	日刊工業新聞社	編集局	編集局長
8 委員	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		理事 環境委員長
9 委員	小見山 康二	経済産業省	産業技術環境局	室長
10 委員	傘木 和俊	一般社団法人産業環境管理協会		執行理事

平成25年度 LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	上野 潔	金沢工業大学	東京虎ノ門キャンパス	客員教授
2 委員	水野 建樹	一般社団法人未踏科学技術協会		研究主幹
3 委員	根村 玲子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		環境委員
4 委員	中尾 道靖	関西大学	商学部 副学部長	教授
5 委員	中野 加都子	神戸山手大学	現代社会学部 総合社会学科	教授
6 委員	端谷 隆文	富士通株式会社	環境本部	シニアディレクター

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとします。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 約20名
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の中から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。